



夜は行灯のように三茶を可愛く演出する 電池式の照明（防雨型）を内蔵できるつくりです

# JELLY SANCHA 三茶を彩るゼリーのようなファニチャーズ

## 01. 茶沢通りの魅力的な拠り所となる

本作は、そのままでは無骨なイメージのある波板と合板を組み合わせたシンプルなファニチャーである。直径と高さにも多様なバリエーションを持たせることで、通りを歩く人々の魅力的な拠り所となる。三軒茶屋のメインストリートである茶沢通り（三軒茶屋銀座商店街）は、個性豊かな路上店の魅力が通りに溢れ出している。どこかチャームिंगな三軒茶屋に相応しい、カラフルで可愛いファニチャーを提案する。

透明感があり、ゼリーのような波板円柱を構造体とし、座った時やテーブルとしての強度を確保している。天板や座面はラワン合板をデジタル加工機でカットするだけ。クッキーのような親しみのある姿となる。大きいものはスタンドテーブルとなり、小さいものはスツールに。群として、三茶にも多様な拠り所をつくり出す。

## 02. 三茶らしいカラフルな彩り

使用する透明波板はグラデーションをかけながら染色する。レモン色、オレンジ、赤色といった鮮やかな色を軸にしている。「東急・三軒茶屋駅」のシンボルカラーである「レモン色」、世田谷線の黄色車両、三茶しゃれなあどのオレンジのサイン、赤ポスト等まちに存在する色と呼応することで、三茶らしく通りを彩る。



## 03. 大中小のファニチャーズ



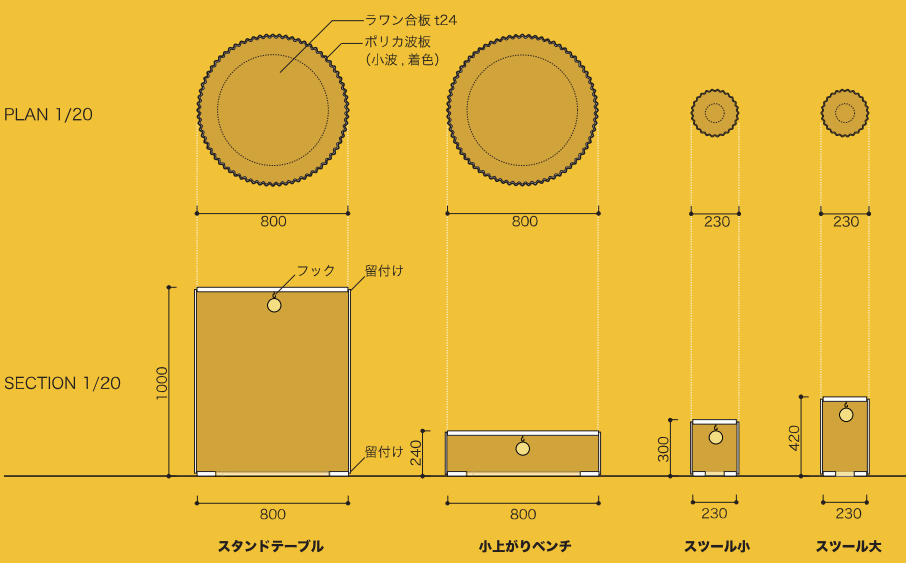
18個のファニチャーズ（内訳：スタンドテーブル×1、小上がりベンチ×2、大スツール×8、小スツール×7）

## 04. 夜には三茶を照らす行灯に

昼と夜で異なる風景を見せたい。ファニチャーズは、中に照明を仕込むことで行灯のように通りを照らす。波板が照明カバーとなり、防雨型の電池式の照明を天板裏面に固定する。夜の三茶は昼の顔とは異なり、ムードや味わいのある個性を醸し出す。その灯りと調和するように、車道側にも明かりを灯し、夜のファニチャーとして変身する。

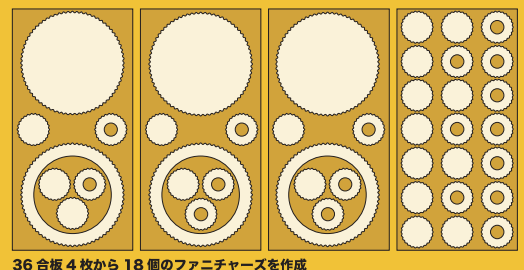


## 05. 図面・仕様



## 06. 材料・見積もり

- ラワン合板 4枚：120,000円 (3x6版, 素材+加工)
- 波板：40,000円
- 塗料：70,000円
- ビス：10,000円
- 送料：40,000円
- その他消耗品：20,000円
- 合計：300,000円



スツールのモックアップ 実物で強度や耐久性の確認を行っています

## 07. 収納時

18個のファニチャーは収納時には800×800×1800に収まるように設計した(右図参照)。スタンドテーブル内に8個の大スツールが入るようにしている。

